

原始から現代まで 吉川市の足跡



明治10(1877)年頃
「徳江橋眺望」(埼玉県地誌略より)



昭和8(1933)年
吉川橋竣工記念
葉書



昭和31(1956)年
吉川町議会の会議場
(吉川小学校講堂)



昭和33(1958)年
中川で水遊びをする子ども達



豊かな土地に栄えた吉川
太古、東京湾が内陸まで深く入り込んでいたため、約6000年前(縄文時代前期)のころの吉川周辺はまだ海の中でした。紀元前600年ころ(縄文時代晩期)には陸地が現れていたと考えられ、6世紀(古墳時代後期)以降に人々の暮らしが始まったと推測されています。
吉川には、江戸川や中川などの河川が流れ、水辺が織りなす「川と生活」をしながら発展してきました。

7世紀から8世紀の和歌を集めた「万葉集」の東歌に「葛飾早稲」という言葉が出てくるところから、吉川を含む葛飾地域ではこのころには稲作が行われたと考えられています。
中世には、下河辺氏や風早氏による荘園支配や寺領など、さまざまに支配が変わりました。
江戸時代、新田開発が進められたことで、「早生米」の産地として吉川周辺は発展。生産した米は中川や江戸川を利用して江戸に運ばれたため舟運が発達し、この地は物資の集積地として栄えるようになりました。しかし、川からの恩恵を受ける一方で、多くの水害に見舞われました。

明治時代に入つて、東武鉄道が開通し駅ができた越谷と吉川の間に乗合馬車が走り、大正時代には乗合バスが運行。さらに関東大震災後、トラック運送が発達することにより舟運は衰退していきました。
大正4(1915)年、吉川村は町制を施行し吉川町になり、昭和30(1955)年には、吉川町、三輪野江村、旭村が合併し吉川町となりました。
昭和48(1973)年の国鉄(現JR)武蔵野線の開業で吉川駅が誕生し、同年の吉川団地の建設を契機に都市化が急速に進行。平成3(1991)年には、吉川町の人口は5万人を突破しました。



昭和48(1973)年
完成間近の吉川団地



昭和48(1973)年
武蔵野線開通・吉川
駅開業式

Yoshikawa, Flourishing in a Prosperous Land

In ancient times 6000 years ago, when Tokyo Bay was deeply embedded in the continental shelf, Yoshikawa was still under the ocean waves. It is thought that the land of Yoshikawa first appeared around 600 BC, and that people began living in the region after the 6th century. The phrase "Tokatsu early rice" appears in the poems collected in the 7th and 8th centuries, suggesting that rice cultivation had begun in the Tokatsu region, including Yoshikawa. In the Edo Era, the Yoshikawa region was developed as an "early growing rice" region as part of the new rice paddy development of the time, and the region prospered with the transport of goods and rice on the Nakagawa river. Yoshikawa became Yoshikawa Town in 1915, and in 1955 it merged with the former villages of Miwanoe and Asahi.

古代～吉川市誕生以前

- 大宝2(702)年ころ 高い土地で稲作が行われ、『万葉集』に「葛飾早稲」と詠まれる。
- 長保2(1000)年ころ 古利根川(現中川)近くの自然堤防に人が住み始める。
- 文治3(1187)年ころ 芳川神社が創建される。
- 弘安7(1284)年 日蔵院に一尊板碑が造立される。清浄寺に西念法師の塔が造立される。
- 正安3(1301)年 清浄寺に南无仏塔が造立される。
- 永和4(1378)年 葉王寺に弥陀三尊板碑が造立される。
- 文安3(1446)年 延命寺に十三仏種子板碑が造立される。
- 文安4(1447)年 延命寺に六字名号板碑が造立される。
- 永禄12(1569)年ころ 平沼で合戦が起こる。
- 天正18(1590)年 徳川家康の所領となる。
- 慶長15(1610)年 徳川家康、吉川で放鷹。
- 慶長17(1612)年 各地で新田開発が盛んに行われる。
- 慶安元(1648)年 延命寺・密蔵院に十石の朱印状がだされる。
- 寛文9(1669)年 定勝寺に銅鐘が鑄造される。
- 延宝3(1675)年 大場川の開削。二郷半沼が干拓される。
- 弘化3(1846)年 平沼で大火。
- 安政5(1858)年 中川・古利根川・荒川が氾濫し大洪水となる。
- 明治元(1868)年 武蔵・下総知県事の管轄に。
- 明治2(1869)年 小菅県(一部葛飾県)に属する。
- 明治4(1871)年 埼玉県に属する。
- 明治6(1873)年 芳川(吉川小)、時習(三輪野江小)、郁文(旭小)の各学校が開校。
- 明治8(1875)年 徳江忠次郎氏により徳江橋(吉川橋)が架けられる。
- 明治22(1889)年 町村制施行。15カ村で吉川村に、15カ村で三輪野江村に、7カ村が合併して旭村となる。

- 明治32(1899)年 東武伊勢崎線が北千住～久喜間で開業。越ヶ谷駅(現北越谷駅)が誕生する。
- 明治36(1903)年 乗合馬車が吉川・越谷(大沢)間を走る。
- 大正4(1915)年 町制施行。吉川村が吉川町となる。
- 大正5(1916)年 中川改修工事始まる(松伏から川富間)。
- 大正6(1917)年 徳江橋から古利根橋へ再架橋。
- 大正9(1920)年 吉川に電話がひかれる。
- 大正10(1921)年 乗合バスが越谷・吉川間を走る。
- 昭和8(1933)年 鉄筋コンクリート製の吉川橋が完成。
- 昭和22(1947)年 カスリーン台風による大洪水で、2,269戸が浸水。
- 昭和30(1955)年 吉川町、三輪野江村、旭村が合併し、新吉川町が誕生する(人口16,477人)。
- 昭和33(1958)年 水道がひかれる(三輪野江旭地区は35年から)。
- 昭和43(1968)年 町役場の新庁舎が完成する。
- 昭和46(1971)年 県立吉川高等学校が開校する。
- 昭和47(1972)年 密蔵院のイチヨウが県の天然記念物に指定。
- 昭和48(1973)年 吉川団地が完成。国鉄(現JR)武蔵野線が開通し「吉川駅」が開業する。関小学校が開校する。
- 昭和53(1978)年 老人福祉センターがオープンする。
- 昭和55(1980)年 町民憲章を制定。町の木「モクセイ」、町の花「サツキ・ツツジ」を制定。
- 昭和56(1981)年 町民プールがオープン。中曽根小学校が開校する。中央中学校が開校する。
- 昭和59(1984)年 郷土史料館が開館する。
- 昭和62(1987)年 平和都市宣言を行う。中央公民館が開館する。
- 平成元(1989)年 児童館ワンダーランドがオープンする。
- 平成2(1990)年 吉越橋が開通。新川橋が架け替えられる。昭平橋が開通。
- 平成6(1994)年 消防署新庁舎が完成。防災行政無線が開局。環境センターが業務を開始。
- 平成7(1995)年 屋内温水プールがオープン。吉川駅南口になまずモニュメントが誕生。